

館山神社

館山神社は、大正十四年ごろにできました。その前は、下平田の人も八幡神社に行っていたそうです。もとまでは上平田が豊初にきて、それから下平田に住んでいき、人口が増えていって、下平田に神社を作りました。名前の由来は安部館という場所が、そこはみんな高い場所にあるから、館山と読んでいました。そこに神社を作ったため、「館山神社」となっています。



今から八百五十年前、民沙門神社は、郷土館の家族安全をまつて、民沙門神社でも、土蔵の人の民沙門天機が、いついられ、民沙門天機は、安部を保護する神様です。安部は、安部のとき、後世まで、安部を守り、たのしみ、安部のなまじり、安部。

蘇る歴史

郷土館は、安部の家族安全をまつて、民沙門神社でも、土蔵の人の民沙門天機が、いついられ、民沙門天機は、安部を保護する神様です。安部は、安部のとき、後世まで、安部を守り、たのしみ、安部のなまじり、安部。

館山神社 鳥居前



神社内の建つ物



安部 元 佐藤 大 貴田 真生 大 信田 美寿季 君洞 麻衣 藤



（1967）そのとき、金石まつりとなり、毎年10月の第3日曜日を含む金土日に催される。まつりの中心は、平日に行われる勇壮な曳舟だ。

尾崎神社本宮神楽（おぎざきじんやほんぐうかみぐら）起源 この神楽は、八雲神社に奉納される山伏入は、法印神楽と称される神楽が、伝承されたものであるといわれています。

尾崎神社について

尾崎神社を知っていますか？

釜石文化財

平田御番所跡

下平田にある南部藩平田御番所跡を存じですか。平田御番所は、江戸時代初期に、南部藩と伊達藩の藩境だ。た平田村と唐丹村の間に立ってられました。當時は、通行人の取り締りや、藩境の巡視整備にあたりました。今では、市指定文化財に指定されています。また、釜石市郷土資料館には、掘り出された藩境印杭が展示されています。みなさんも釜石の歴史に触れてみてください。



バニー也己 寛欣巧 涼、か 藤田 穂田 本川 舞奈 加 澤 密 松 長 谷 水 高